

氏名	高 橋 美智子		
学位(専攻分野)	博 士(医 学)		
学位授与番号	博 乙 第 2430 号		
学位授与の日付	平成 4 年 6 月 30 日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)		
学位論文題目	Intrafamilial transmission of hepatitis C (C型肝炎の家族内感染)		
論文審査委員	教授 太田 善介	教授 木村 郁郎	教授 新居 志郎

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

C型肝炎の感染に関して、家族内における感染の重要性の有無について検討を行なった。1989年3月より1990年4月までに当科に入院した慢性C型肝炎患者76名の家族160名について肝疾患の既往などについて問診を行なうと同時に、採血を行い、HCV抗体(C100-3抗体)の検索を行なった。コントロールとして対象家族と年齢を一致させた献血者におけるHCV抗体陽性率を用いた。患者家族160名中14名(8.75%)でHCV抗体が検出され、これは対照(1.42%)と比較すると有意に高率であった。患者との関係別にこれを見ると子供73名中4名(5.48%)、配偶者58名中7名(12.1%)でいずれも対照に比し有意に高率であった。両親と兄弟姉妹、子供では102名中7名(6.86%)でHCV抗体が陽性であり、これは配偶者の陽性率に比べ低かった。今回の検討によりC型肝炎患者家族でのHCV抗体保有率は有意に高く、家族内での感染の可能性が示唆された。

なお、本論文は共著論文であり、共著者の協力を得て完成したものである。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究はC型肝炎の感染に関して、家族内における感染の重要性の有無について検討を行ったものである。HCV抗体陽性率で見ると、子供(5.48%)、配偶者(12.1%)と対照に比し有意に高率であった。これは家族内での感染の可能性が示唆する価値ある業績である。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。